

横浜の水道の歴史

水道の誕生

普段みんなが使っている水道は、ここ横浜に日本で初めて誕生しました。横浜は安政6(1859)年に港が開かれてから、急げぎに人が増えていきましたが、海や沼を埋め立てたところが多く、井戸を掘っても塩からい水ばかりで、飲み水が足りませんでした。

そこで神奈川県は、水道にくわしいイギリス人のヘンリー・スペンサー・パーマーさんに水道をつくる計画をたのみました。そして、2年6カ月かけて工事を行い、明治20(1887)年10月17日に日本で初めての近代水道が完成しました。



パーマーさん

近代水道って何?

近代水道とは、ろ過をしてきれいになった水を鉄の水道管を通して圧力をかけて蛇口まで送る、みんながいつも使っている水道のことです。今はこれだけでなく、水を塩素で消毒しています。



近代水道ができたときに使われていた蛇口(獅子頭共用栓)

今日までの歩み

横浜が発展したのは水道のおかげでもあるんだね!



近代水道が完成した後も、関東大震災や第二次世界大戦の大きな被害を乗り越えて、増え続ける人口や発展していく横浜の街を支えるため、水道の施設を増やす工事などを進めてきました。そうして、みんなの家にも安全な水をお届けしています。

今では、浄水場や水道管など、水を届けるためのたくさんの方針を管理しています。また、古くなった水道の施設を地震にも強い施設にする工事をして、これからも安定して水をお届けできるようにしています。

水は、どう使われているの?

水は、いろいろなところで使われています。家ではお風呂・トイレ・台所・洗たくなど、学校では水飲み場・トイレ・給食調理・プールなど、そのほかでは、公園の水飲み場・消防車の水などで使われています。

今、横浜市では100パーセントの人が、また全国では約98パーセントの人が水道水を使っています。1人が1日に使う水の量は約200リットルです。これは、みんなが給食で飲んでいる牛乳パックの約1,000本分にあたります。

みんなは、トイレや洗面でどのくらい使うのかな? 水道メーターで、はかってみよう!



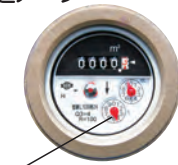
洗面 およそ リットル

トイレ およそ リットル



一戸建ての例

水道メーター



この赤い針が1周すると、10リットルです。



マンションなどの例

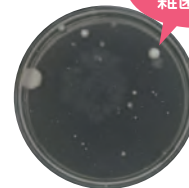
知ってビックリ、塩素の効果!

塩素には消毒作用があり、雑菌などから水を守るといっても大切な働きをしています。水道水に含まれる塩素は、一生飲んでも健康に影響のない量になっています。

写真は、川の水の雑菌を比べたものです



塩素消毒あり



塩素消毒なし

白い点が雑菌です

水道水は安心して飲んでね!

